



欄に数値またはコメントを記入

## 1. 建物概要

建物名称	御前崎港バイオマス発電所	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	--------------	-----	-----	--------	----	----

## 2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.4 / 5		がんばろう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.7 / 5		がんばろう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.5 / 5		ふつう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4 / 5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4点以上 ふつう 3点以上 がんばろう 3点未満	

## 3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		内訳対応項目		
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>		得点	2.4	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>④屋内消火栓→耐用年数30年</li> </ul> </li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤植栽条件に応じた緑地づくりを行っている。</li> </ul> </li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	② 外皮性能 ③ 昼光利用設備 ④ 昼光制御 ⑤ 躯体材料の耐用年数 ⑥ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ⑦ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ⑧ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑨ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑩ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑪ 生物環境の保全と創出 ⑫ 敷地内温熱環境の向上 ⑬ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑭ 自然エネルギー利用 ⑮ 設備システムの高効率化 ⑯ モニタリング ⑰ 運用管理体制 ⑱ 節水 ⑲ 雨水利用システム導入の有無 ⑳ 雑排水等利用システム導入の有無 ㉑ 材料使用量の削減 ㉒ 既存建築躯体等の継続使用 ㉓ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ㉔ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ㉕ 持続可能な森林から産出された木材 ㉖ 部材の再利用可能性向上への取組み ㉗ 有害物質を含まない材料の使用 ㉘ 消火剤 ㉙ 断熱材 ㉚ 冷媒 ㉛ 地球温暖化への配慮 ㉜ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>		得点	2.7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>		得点	3.5
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>		得点	2.4	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤植栽条件に応じた緑地づくりを行っている。</li> </ul> </li> <li>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善)</li> </ul>	Q-3 1 ⑤ 2 ⑲ 3 3.2 ⑥ LR-2 2 2.5 ⑫ LR-3 2 2.2 ⑮	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善		

# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	御前崎港バイオマス発電所	階数	地上1F
建設地	静岡県御前崎市港6620番78,6620番8	構造	S造
用途地域	都市計画区域	平均居住人員	0人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年11月 予定	評価の実施日	2021年8月2日
敷地面積	53,237 m <sup>2</sup>	作成者	大場 優
建築面積	7,396 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月2日
延床面積	7,396 m <sup>2</sup>	確認者	大場 優



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.7**

★ ★ ★ ★ ★ A ★ ★ ★ ★ ★ B+ ★ ★ ★ ★ ★ B ★ ★ ★ ★ ★ C ★

S: ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ ★ ★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

**LR 環境負荷低減性** **LR のスコア = 2.8**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 大空間の工場の為、空間の形状、及び自由さに配慮し設計している。 また、敷地内に緑地を設けることで室外環境にも配慮している。 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。		<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b> 評価対象外	<b>Q2 サービス性能</b> 空間の形状、自由さが高い。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 適切な緑地づくりを行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 一般的な設備を採用している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 既存建築物の利用なし。	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な量の駐車場を設けている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい